



プレスリリース

一般社団法人日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団**として**社会への情報提供**を行うため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、**シンポジウム東京電力福島第一原子力発電所の廃炉「チャレンジする課題」**開催のお知らせです。

日本原子力学会シンポジウム開催のご案内 東京電力福島第一原子力発電所の廃炉「チャレンジする課題」

東京電力福島第一原子力発電所（1F）は廃炉の進捗を左右する重要な時期を迎えています。炉内観察から燃料デブリの状況が徐々に明らかになりつつある今日、燃料デブリの取り出し作業には、廃炉を大きく前進させるための重要かつチャレンジングな課題が存在します。本シンポジウムでは、燃料デブリを取り巻く2つのテーマに焦点を絞り、講演者に論点を提起いただいた後に、パネリストとコメンテーターによるディスカッションでの率直な意見交換を通じて課題を明らかにすることで、今後の1F廃炉活動の一助となるよう進めていきます。また、シンポジウム冒頭に、1F廃炉分野で優れた活動を行った若手を表彰する「廃炉貢献賞」の2021年度受賞者とその概要を紹介します。

日 時：2022年6月25日（土）13:15～16:45

場 所：Zoom ウェビナーによるオンライン開催 <https://www.aesj.net/symp20220625>

主 催：一般社団法人日本原子力学会 福島第一原子力発電所廃炉検討委員会

参加費：無料

プログラム：

13:15～13:30 2021年度廃炉貢献賞の紹介

13:30～13:35 開会の挨拶と導入 廃炉検討委員会委員長 宮野 廣

13:35～16:45 パネルディスカッション

テーマ1 「デブリの生成過程と取り扱い」

モデレータ：矢板 由美（東芝エネルギーシステムズ）

論点提起者（講演者）：倉田 正輝（日本原子力研究開発機構）

パネリスト：出光 一哉（九州大学）、高田 孝（東京大学）、村上 健太（東京大学）、山本 章夫（名古屋大学）

テーマ2 「燃料デブリの取り出しとロボット技術（遠隔技術）」

モデレータ：竹田 敏（阪大）

論点提起者（講演者）：奥住 直明（IRID）

パネリスト：大隅 久（中央大学）、鈴木 俊一（東京大学）、吉見 卓（芝浦工業大学）

※コメンテーター：荒木 涼子（毎日新聞）、滝 順一（日本経済新聞）、服部 牧夫（読売新聞）、
広江 滋規（共同通信）、吉野 実（テレビ朝日）

16:45～16:55 まとめ及び閉会の挨拶 廃炉検討委員会副委員長・東京大学 関村 直人

以上